

平成 30 年度庄内町第 3 回保健医療福祉推進委員会議事録

開催日時：平成 31 年 1 月 17 日（木）午後 1：30～3：00

場 所：余目保健センター

出席委員：菅原源也、齋藤学、齋藤邦仁、佐藤トク、庄司武晴、齋藤君夫、鎌田 剛、
水尾良孝、鈴木 愛、工藤むつ子

欠席委員：日下部忠明、佐藤昭一、高橋雅己、渡會弘喜

事務局：門協保健福祉課長、鈴木課長補佐、阿部主査兼子育て応援係長、
長南主査兼介護保険係長、齋藤主査兼健康福祉係長、福祉係荒木主任、
地域支援係龍野主任、健康推進係池田保健師

内容は次の通り

1 開 会 門協課長

資料の確認、出席状況確認、欠席委員 4 名

2 あいさつ 水尾委員長

3 協 議 進行：委員長

(1) 庄内町自殺対策計画について 課長補佐兼健康推進係長説明

- ・前回委員会協議計画資料の修正点について
- ・今後のスケジュールについて

パブリックコメント 4 週間程度、意見を集約し、配布は 3 月下旬の予定

質疑応答

委 員 P3 2023 の数値は人口 10 万対となっているが、人数は生々しいため出さないのか。

事務局 5 人以下は誰かが特定されるため人数を出さないよう指示があるため。

委 員 P3 ②熟眠を感じている人の割合を 85%以上とあるが、現状値を教えてください。

事務局 第 2 章に記載されている。②は P12 よく眠れる割合は、全体で 72.8%、
③は P14 ストレスを処理できている、何とか処理していると答えた方は 78.7%。

委 員 2023 年度の数値目標は、国から指示があったのか。

事務局 国の目標は自殺の死亡率を現状より 30%減少を目標としている。町は人口 10 万対の率を目標値にして 20.0 以下とした。国からの指示はない。

②③④は健康しょうない 21（第 3 次）との整合性を図り同じ指標にした。

委 員 熟眠できる人が増えると自殺が減ると捉えてしまう人もいるのではないかと。因果関係感じさせるが。

事務局 自殺の要因は平均 4 つと言われており、複雑にからみあっていて、熟眠できる %が上ったからといって、自殺が減少するとは結び付けられない。熟眠できないことは、うつとの関連もいわれるもののため、評価できるものとして掲げた。

委 員 P6 の年代別自殺死亡数とあるが、人数に小数点がついていることに違和感を感じる。合計人数の方がいいのではないかと。

事務局 人数だと例えば1人の場合その人と特定されてしまう。国、県でも特定されないようにとされている。わかりにくい表現ではあるが、あえてその表を使用した。

委員 中間評価時とはいつのことなのか。

事務局 健康しょうない21の中間評価。注釈を入れて修正したい

委員 P21⑥関係機関との連携強化とあるが、P27の体系図の連携の中心は誰なのか。組織の事務局的なところがないと難しいものだが。

事務局 この図は庁内会議において必要とされ、主に職員向けのものである。事務局的な役割は保健福祉課が担うと考えている

委員長 過去には町に自殺対策の委員会があったこともあった。現在はこの保健医療福祉推進委員会がそれを担っている。立派な体系図ができて誰がどこにつなぐのかわからない。保健福祉課が中心となって推進し、この委員会で計画の進捗状況を確認していくことになる。

委員 悩んでいる人がいたら、最初の窓口になった人が関係機関につなぐのか。それとも、保健福祉課へつないでいいのか。

事務局 保健福祉課につないでよい。

委員 家族が伝えやすいのは誰か、変だと感じるのは家族では。民生委員にも伝えやすいと思うが、民生委員からつなぐ体制はできているのか。

事務局 心のサポーター養成講座は、民生委員にも案内している。今後も普及啓発していく。

委員 民生委員で解決したことはあるのか。

事務局 民生委員さんのところで解決できたという報告はいただいていない。

委員 P27 今後町内外の民間も含めて計画していく、という一文があったほうがいい。町民、外部(庁外)の人は、自分たちは関係ないと思ってしまうのではないのか。連携に社会福祉協議会はあるが、福祉員(行政区長)はどのような取組があるのか。

事務局 そのようにしたい。

委員長 福祉員の活動として、具体的な活動例はあったのか。

委員 福祉員とは、行政区長さんに社会福祉協議会で委嘱している。行政区長は全てを把握しているという立場。幅広く組織をあげて課題を解決していかなければならない。福祉員、民生委員とも連携していくことが大事である。

委員 小中学校のいじめはどこで見つけて、誰が対応しているのか。SNSの問題についてはどうなってるのか。

事務局 P24に教育課主催のいじめ対策協議会があるが詳細は把握していない。情報、SNSについては、今後、㉗児童生徒のSOSの出し方教育で、保健福祉課と教育課と検討予定。

事務局 昨日いじめ対策連絡協議会があり子育て主幹が出席した。各小中の校長、教育事務所、スポ少の代表や児童相談書、教育課、子育て応援係等子どもに関わる方々がメンバー。どのように関わっていくか年2回協議している。いじめのアンケートの集約。いじめについて中学生は先生が、小学生は保護者がいじめを見つ

けることが多い。

課長 一報を受けた部署が関係部署と連携して対応する場合が多い。議会の承認を得ての話ではあるが、本町の事務機構改革も予定されている。子育て応援係は平成31年から独立し課になる予定。今後も連絡調整はしていく。いじめについての情報は保健福祉課に入っていないためわからない。

委員長 質問意見については事務局が調整することとし、素案としていかがか。まだ質問はあるか。

委員 なし

委員長 今後はパブリックコメントの意見も取り入れて修正することもあるがよろしいか。自分も修正等に関わらせていただきたい。

答申書に入れるべきというものがあれば、事務局と調整し町長に答申する。策定後は委員のみなさまに計画と一緒に答申書と諮問書を配布させていただく。

課長 答申については、これまでの意見を付帯意見としてを盛り込み、体裁は一般的な答申書と考えており、委員長と相談させていただきます。

委員長 パブリックコメントの内容も委員に伝えてほしい。(1)の庄内町自殺対策計画についてこれで終了するがよろしいか。

委員 よい。

(2) 庄内町高齢者保健福祉計画第7期介護保険事業計画の取組及び目標に対する自己評価について
主査兼介護保険係長 説明

委員 モニタリングの結果をふまえて、自分たちは何かするのか。

事務局 モニタリングは終わっており保険者が分析したものを報告させていただいた。

委員長 自己評価総括表の○△×に凡例あってもいいのではないか。

課長 A3のシート数字合わないところがある。県のシステムを使うと、小数点以下に差異が生じる。こちらでも確認する。

委員長 1号被保険者の数値が大部違うが。

事務局 人口は国から示された数値で作成している。被保険者数が増えると、保険料が増える。財源的にはありがたい。被保険者数が増えているのは、平均寿命が伸びているととらえている。保険料でみると見込額より多い。予測より人口が減っていないと解釈している。

(3) その他

委員長 (3) その他について事務局の方からは何かあるか。

事務局 特になし。

4 その他

委員長 4. その他について事務局から何かあれば。

事務局 昨日、県から「インフルエンザ注意報」及び「伝染性紅斑警報」の発令があった。部署に戻ったら予防対応等資料の周知をお願いしたい。

5 閉会 門脇課長

午後3時00分終了